

歴史散歩

◆第26話◆

文 多古町郷土史の会

日枝神社

井戸山一〇九六番地に祀られて
いる旧井戸山村の鎮守です。
石段を上り、朱色に塗られた鳥
居をくぐると、長い参道の奥に真
新しい本殿が閑静なたたずまいを
見せています。



日枝神社本殿



参道入口の鳥居と手洗い

鳥居の右手には、歴史を感じさ
せる立派な手洗いがあります。そ
して、鳥居をくぐった左手には、
石垣で囲まれた子安様と、火防
や五穀豊穡の神として知られる
「日本武尊」が祀られた社が建ち
並んでおり、奥に建つ本殿をより
一層引き立たせています。
現在の本殿は、平成十七年十二
月に地元住民らの手により再建さ
れたもので、鳥居と同じく鮮やか
な朱色に仕上げられています。

「ふるさと歴史散歩は、多古町に
古くからある神社寺院、歌碑句碑
などを紹介するコーナーです。」

大師堂

井戸山九五番地の一にあり、弘法
大師（空海）が全国行脚の際に立ち
寄ったとされる伝説をもとに「石芋
大師」とも呼ばれています。

本尊は御影石で造られており、
昇り下りの竜が刻まれた立派な厨
子に収められ、阿弥陀如来と思わ
れる像や不動尊像とともに、本堂内
陣に安置されています。

本堂周辺には、歴史の深さを物語
る芭蕉の歌碑や、小さきまざまな石
碑などが数多く建ち並んでいます。
また、境内左奥には「石芋大師の井
戸」と称される小池があつて、土が
盛られた石枠の中には、四季を通し



大師堂本堂



「石芋大師の井戸」と称される小池

て里芋が供えられ、真冬でも青々と
しています。
そして、この小池の周りにも、芭
蕉の歌碑や三十三観音碑などが整
然と建ち並んでいます。



多古中央病院から

『今年の夏は例年並みの暑さでも 熱中症対策を』

文 国保多古中央病院 内科 宇都宮隆法

今年の夏は長期予報によると例年
並みの暑さとなっておりますが、日中
の気温が35度まで上昇する日も例年
並みに多いと予想されます。この時
期になると熱中症で倒れる方が急増
し、多古町の場合、高齢者はもちろ
ん若年男性も目立ちます。

熱中症では、暑さで皮膚の血管が
開き皮膚の血流が増える一方で、脳
や内臓では血液が減ってしまい、め
まい症状が起こります。

また、発汗で水分と塩分が
体から失われると、気分
不良や筋肉のこむら返り
が起きたりします。この
ような状況を防ぐために
は、室内でも気温が高い
ことを十分に認識し、しつ
かりと飲食して、涼しい状
況を保ちましょう。

屋外作業をする際に、トイレが近
くなるという理由で水分摂取を極力
控える方がいらっしゃいます。若年
で重症になる方は、このような判断
で仕事やスポーツに取り掛かった方
が多く、休憩することを格好がつか
ないで遠慮してしまうようです。そ
のため職場のリーダーとスポーツの
指導者や保護者が休憩時間を考慮し
ましょう。

エアコンが市販された当初は、冷
房専用で連続運転のため大変効き目



【病院便り】
主に学生、自営業者、農家の方な
どが加入している国民健康保
険における特定検診の受
診率が、平成23年度多
古町実績で44%にとど
まっています。
当院では、皆さまの
健康維持と国保財政の
安定化のため、特定健診
を受診するよう勧めさせ
ていただいております。

私は登山の時には
水を2リットル持って
行くよ



本の森

私の一冊

『出口のない海』

この本は、太平洋戦争に巻き込まれ
ていく若者たちの話です。戦争がテ
マになっていますので、初めは少し抵
抗がありました。しかしその時代に向
き合い、抱えきれないほどの使命を自
らの運命だと覚悟を決めて、懸命に生
きた若者たちがいたこと
に、深く考えさせられた一
冊です。

特攻兵器・人間魚雷「回
天」への搭乗という究極の
任務についた若者たちに
も、それぞれに夢がありま
した。主人公の並木は死と
隣り合わせの厳しい訓練の合間に、変
化球「魔球」を生みだすため一人ポロ
ポロになった野球ボールを投げしてい
ました。
そして遂に「回天」と対面する時が



本植人：行橋千春さん（御料地）

きます。脱出装置のない、完全なる特
攻兵器、深い海の中に潜んで敵船に体
当たりする時を待つ：希望に満ちた未
来や夢を断ち切られることは、今の私
たちには想像もできない過酷な運命だ
と思います。しかし事実、日本に「回
天」が存在しそれに乗り込
む若者がいたことを忘れて
はいけません。
この作品は映画化されて
いるようなので、本が苦手な
方は、DVDでご覧になっ
てはいかがでしょうか。本を
読むことは、物語の中に入
り込み経験したような感覚を味わうこ
とができるので好きです。その中でも
横山秀夫さんの作品は好きなのですが、
これからもジャンルを問わず幅広い本
と付き合っていきたいと思っています。

27本目



『出口のない海』
文：横山秀夫
発行：講談社

〈あらすじ〉

甲子園の優勝投手・並木は
大学入学後に肘を壊してしま
いますが、夢を諦めませんでした。
そして時代は太平洋戦争に突入、
並木は自ら特攻兵器「回天」への
搭乗任務を志願します。

今回紹介した本は、プラザ図書
室に置いてあります。
リクエストにもお応えしますの
で、お気軽にご利用ください。
■コミュニティプラザ図書室
☎ 79-3406
開館時間：午前8時30分～午後5時
[7月の休館日] 毎週月曜日・祝日